

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
大事業	051	農業委員会運営事業			中事業	01	農業委員会運営事業		
小事業									他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	農業委員会
	基本計画	3-1	農業の振興		農業委員会事務局
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	農地法、農業委員会等に関する法律ほか			
根拠例規	有	坂井市農業委員会会議規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
農業委員会は「農業委員会等に関する法律」に基づき、市町村に設置された行政委員会であり、「農業・農民の公的な代表機関」として地域農業の維持・発展を図る。

【事業の概要】
農地法等の法令に基づき、農地の権利移動についての許可や農地転用を中心とした農地行政の執行を行う。又、農地パトロール等を通じ耕作放棄地の発生防止解消等に努める。

○ 報酬	農業委員 37 名分	9,340 千円
○ 賃金	臨時職員 1 名分	1,158 千円
○ 報償費	視察謝礼	4 千円
○ 旅費		115 千円
	北信越ブロック女性農業委員	63 千円
	全国農業委員会長大会等	52 千円
○ 需用費		225 千円
	消耗品費	149 千円
	燃料費	15 千円
	食糧費	61 千円
○ 役務費	郵便料	24 千円
○ 使用料及び賃借料		265 千円
○ 備品購入費		30 千円
○ 負担金		2,091 千円
	県農業会議拠出金	1,988 千円
	福井地区農業委員会協議会負担金	91 千円
	福井県女性農業委員の会負担金	12 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト				
事業費	13,252	11,859	12,111	1393
人件費	25,993	23,267	21,256	2726
総事業費	39,245	35,126	33,367	4119
人員				
正職員	3.45 人	3.30 人	2.99 人	0.15 人
臨時職員	1.00 人	1.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	4.45 人	4.30 人	2.99 人	0.15 人
財源内訳				
国県支出金	6,833	6,957	5,700	△ 124
その他特定財源	14	0	0	14
一般財源	32,398	28,169	27,667	4229

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標 農地法関係審査件数 (3,4,5条関係、現況届)	件	目標	220	220	220	220	220
		実績			204	198	239
		達成率(%)	0.0	0.0	92.7	90.0	108.6
指標の説明							
指標 独自指標 遊休農地率 (農地法第30条)	%	目標	0	0	0	0	0
		実績			0.1	0.2	0.3
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	各種申請前の事前相談を丁寧におこなったことで、不要不急な申請件数が減少したと考える。営農への影響を最重要し、市民に不利益となる権利設定・移動にならないよう引き続き慎重に審議することを心かける。また、遊休農地についても減少傾向にあるため、引き続き継続できるよう努めたい。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	転用等の申請業務については、事前相談・説明を充実させたことで、混乱なく事務遂行を図ることができた。また、遊休農地率については「利用意向調査」の効果が表れており、年々減少を図ることができている。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成31年度		目標年度	平成35年度	
方向性の説明	改正農業委員会法が施行され、従来からの農地の権利移動、転用にかかる許認可業務に加え、「農地利用の最適化」を図ることが必須の業務となった。農地利用最適化推進委員が新たに設置されたことから、担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進に努める。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名（小事業）						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	01	農業委員会費
大事業	101	農業者年金事務事業			中事業	01	農業者年金事務事業		
小事業	01							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管 部局	農業委員会
	基本計画	3-1	農業の振興		農業委員会事務局
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	農業者年金法、同法施行令、同法施行規則			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	130	150	155	△ 20
	人件費	5,816	5,505	10,166	311
	総事業費	5,946	5,655	10,321	291
人員	正職員	0.83 人	0.82 人	1.43 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.83 人	0.82 人	1.43 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	130	150	155	△ 20
	一般財源	5,816	5,505	10,166	311

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
農業者の老後について、必要な年金等の給付事業を行うことにより、その老後の生活の安定と福祉の向上を図る。

【事業の概要】
農業者年金加入者、待期者、受給権者の状況

被保険者		待期者	受給権者
44 人	うち平成29年度新規加入者	30 人	398 人
	8 人		

○ 需用費 122 千円

消耗品費	73 千円
印刷製本費	49 千円

○ 役務費 郵便料 8 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	新規加入者数	人	目標	4	4	4	4	4
			実績			8	5	2
			達成率(%)	0.0	0.0	200.0	125.0	50.0
指標の説明		農業者年金新規加入者						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	戸別訪問に加え、窓口での加入推進活動を積極的に行ったことで効率よく目標を上回ることができた。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	戸別訪問等を積極的に行うことで農業者年金制度を周知し、新規加入者の確保に努めた。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	農業者の老後の不安を解消することで就農率の向上を図る。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						